

一般社団法人・静岡県中部未来懇話会の理事・運営委員・研究委員全体会が2月6日、静岡市内のホテルで開かれた。当懇話会研究部会がまとめた2017年度年間調査研究テーマ案「多様化時代における新たな経営戦略～ダイバーシティ経営のあり方を探る」を研究部会委員の日詰一幸・静岡大人文社会科学部教授が説明し、承認された。

## 静岡県中部未来懇話会 理事・運営委員・研究委員全体会 17年度年間テーマ案承認

### 「多様化時代の新たな経営戦略探る」

同研究部会では昨年11月、次期研究テーマ案について協議し、生産年齢人口の減少を踏まえて新たな雇用のあり方などに関し検討していくことを決めた。そ



17年度年間調査研究テーマ案などについて討議した理事・運営委員・研究委員全体会。静岡市葵区のホテルアソシア静岡

の後、運営委員会との合同会議での協議を経てテーマ案を固めた。

趣旨説明で日詰氏はテーマ案設定の背景について「今後、企業競争力を強化するためには女性、外国人、高齢者、障がい者、LGBT（性的少数者）を含めて一人一人がその持てる能力を最大限に発揮できるような環境を構築していくことが必要だ」と指摘した。その上で日詰氏は「近年、多様な人材の能力を生かす経営のあり方を示す概念としてダイバーシティ経営という言葉が使われるようになった。こうした経営戦略に対して果たして企業はどのように対応しているのか。その可能性を検討することは有意義である」とその狙いを説明した。

具体的には基調講演とパネル討論による年2回のシンポジウムを開催。春のシンポ（6月）では「女性の活躍推進と企業経営」と題して、女性が活躍でき

る環境整備が企業経営にどのような影響を及ぼすのか検討する。

秋のシンポ（10月）では「ダイバーシティ経営の可能性」と題し、今最も注目されているダイバーシティ経営に焦点を当て、中部地区での導入の可能性について課題も含めて討議する。

このほか懇話会事務局が、中部地域経営会議が前年度に引き続き取り組んでいる「女性の活躍施策」などの活動状況を報告した。引き続き理事会が開かれ、静岡、藤枝、島田各商工会議所会頭の退任に伴い、新たに静岡商議所の酒井公夫、藤枝商議所の山田壽久、島田商議所の岩原茂雄3氏の顧問就任を承認。また、西野勝明研究部会長（県立大経営情報学部教授）の退任に伴い、竹下誠二郎・県立大経営情報学部教授の研究委員就任と日詰一幸・静岡大教授の研究部会長就任をそれぞれ承認した。さらに17年度事業計画及び収支予算案と3月7日の臨時社員総会開催なども了承された。

（関連記事23ページ参照）